

(あて先)富谷市長

事業申請書

I 申請団体について

代表者情報	氏 名	代表者については、富谷市在住の富谷塾生であることが要件となります。 ※ グループメンバーについてはこの限りではありません。
	住 所	
	連絡先	TEL :
		Mail :
グループの名称		
グループメンバー	氏名	グループにおける役割

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。

II 申請の概要

事業の名称	
事業費	申請額 円 (総事業費 円)

申請額の上限は、30 万円となります。
「Ⅲ 事業計画」の「5 実証にかかる費用」の合計を総事業費に転記してください。

Ⅲ 事業計画

1 課題設定（あなたが設定した地域課題を簡潔に記載してください。）

富谷市を元気にするためには、現状においてどんな課題があるのかご記載ください。

2 提案内容（上記の地域課題を解決する方法を具体的に記載してください。）

「1 課題設定」にて設定した課題に対して、下記を参考にご記載ください。

- ① どんな手段を用いるのか(グループができること)
- ② どんな事業を実施するか(グループで実施すること)
- ③ なぜ課題解決に結びつくのか

記載の際は、具体的な内容となるようにしてください。

3 事業における効果（上記提案により、どんな効果があるかを記載してください。）

実証事業を実施することにより、どんな効果が期待できるかをご記載ください。
※ 数値化できるものは、その根拠を記載願います。

4 事業スケジュール

月	事業実施内容
実証前	
9 月	各月において、上期・中期・下期など可能な限り詳細にご記載ください。 ※ 実証事業の終期は、R7.11.30 となります。
10 月	
11 月	
12 月	実績報告書 提出期限（12 月中）

5 実証にかかる費用

支出科目	予算額	内訳
	円	
	円	
	支出科目は、下記を参考にご記載ください。 (科目種類)人件費、報償費、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、 使用料及び賃借料、その他の経費 など	
	円	
合計	円	※30 万円を超える部分は、申請者の負担となります。

※ 行が不足する場合は、適宜追加してください。

6 実証事業終了後の展望（事業化もしくは起業につながるか）

実証事業を行ったことによる「事業化に向けた目標」や「横展開への取組予定」等を
 できるだけ詳細にご記載ください。

7 免責事項

- ☐ 申請者を含むグループメンバー及び本実証について連携する者においては、暴力団もしくは暴力団員との関係を有する者がいない
- 同意する場合は「チェックボックス: ☐」のクリックをお願いします。
 ※ Google ドキュメントの場合は、☐を削除し、☒と入力願います。